商品の修理サービスはお買い上げの販売店がいたします。

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

上記以外で、転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合

『東芝家電修理ご相談センター』

フリーダイヤル **0120-1048-41**（トウシバ ヨイ）

（※フリーダイヤルは携帯電話・PHS など一部の電話ではご利用になれません。）

電話で 24時間 365日 お応えします

携帯電話からのご利用は ナビダイヤル 0570-06-4114（通話料：有料）

PHSなどからのご利用は 0173-38-3168（通話料：有料）

新商品などの商品選びや、本機に関する取扱方法などのご相談

上記についてのお問い合わせは

『東芝 DVD インフォメーションセンター』

（一般回線からのご利用は）フリーダイヤル **0120-96-3755**

（フリーダイヤルは携帯電話・PHS など一部の電話ではご利用になれません）

（携帯電話からのご利用は）ナビダイヤル **0570-00-3755**（通話料：有料）

（PHS・一部の IP 電話などでは、ご利用になれない場合があります）

月～土※ 10:00 ～ 20:00　日曜日・祝日※ 10:00 ～ 16:00　※当社指定休業日等を除く

- 「東芝DVDインフォメーションセンター」は株式会社東芝デジタルメディアネットワーク社が運営しております。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、ご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 東芝グループ会社または協力会社が対応させていただくことが適切と判断される場合に、お客様の個人情報を提供することがあります。

愛情点検

★長年ご使用のDVD ビデオプレーヤーの点検を！

このような症状はありませんか	● 再生しても音や映像が出ない ● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 水や異物がはいった	● ディスクが傷ついたり、取り出しができない ● 電源コード、プラグが異常に熱くなる ● その他の異常や故障がある	お願い	故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご連絡ください。 点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。

株式会社 東芝
デジタルメディアネットワーク社
〒105－8001　東京都港区芝浦1－1－1
＊所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

Ⓣ72-D300KJ-110B1

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

東芝DVDビデオプレーヤー

形名 SD-300J

取扱説明書

DVD VIDEO　COMPACT disc DIGITAL VIDEO　VIDEO CD　COMPACT disc DIGITAL AUDIO

DOLBY DIGITAL　dts Digital Out

- このたびは東芝DVDビデオプレーヤーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- お求めのDVDビデオプレーヤーを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- 最初に安全上のご注意をお読みください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- 保証書を必ずお受け取りになり、内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、本体の製造番号と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

もくじ

商品の保証とアフターサービス

保証書（別添）

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

補修用性能部品について

- 当社は、DVDビデオプレーヤーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理のために取りはずした部品は、当社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

保証期間	お買い上げ日から1年間です。ただし、業務用にご使用の場合、あるいは特殊使用の場合は、保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

修理を依頼されるときは～出張修理

商品の修理サービスはお買い上げの販売店がいたします。

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

「故障かな…？と思ったときは」のページをご覧になって調べていただき、なお異常のあるときは、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容			
品　　名	DVDビデオプレーヤー		
形　　名	SD-300J	お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に		
ご　住　所	付近の目印なども合わせてお知らせください		
お　名　前		電 話 番 号	
お買い上げ店名	お客さまへ…おぼえのため、お買い上げ店名を記入すると便利です。 ☎（　　）　—		

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
＋	
部品代	修理に使用した部品の代金です。
＋	
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

機能設定

その他

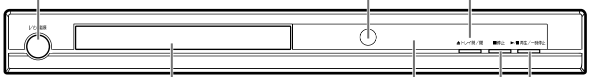
各部のなまえ

前面

▲トレイ開／閉ボタン 27
ディスクトレイの開閉をします。

リモコン受光部 20
リモコンをここへ
向けて操作します。

電源ボタン 26
電源の入切をします。



ディスクトレイ 27
ディスクを入れます。

表示窓 6
現在の動作状態を
表示します。

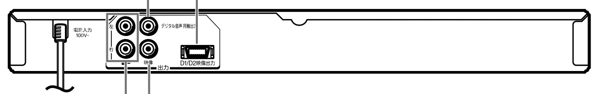
■停止ボタン 28
再生を止めます。

►/❚❚ 再生／一時停止ボタン 28 29
再生の開始／一時停止をします。

背面

デジタル音声同軸出力端子 23
デジタル音声信号を出力します。デコーダー内蔵
AVアンプなどのデジタル音声入力端子と接続します。

D1/D2映像出力端子 21
テレビやモニターにD端子があるときに
接続します。



映像出力端子 22
テレビの映像入力端子と接続します。

音声出力端子 21
テレビやオーディオ機器のアナログ音声入力端子
と接続します。

電源コード
AC100Vコンセントに接続します。

リモコン

くわしくは、 ▶ 内ページをご覧ください。

表示ボタン 43
操作状況や情報の表示

トレイ開／閉ボタン 27
ディスクトレイの開閉

番号ボタン 27 33
数字の入力

メニューボタン 1) 28 29
ディスクメニューなどの表示/PBCの設定

方向ボタン(▲/▼/◀/▶) 29
項目や入力位置の選択

リターンボタン 2)
指定画面に戻る

早送りボタン 31
再生の早送り

早戻しボタン 31
再生の早戻し

コマ送りボタン 31
コマ送り再生

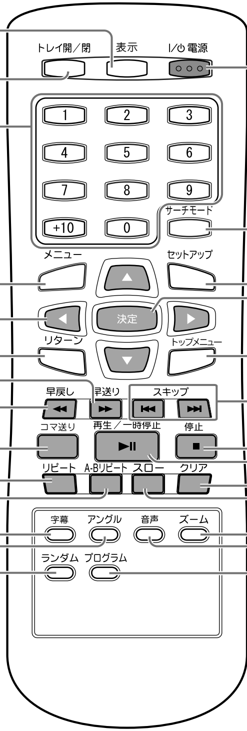
リピートボタン 34
くり返し再生

A-Bリピートボタン 34
指定区間のくり返し再生

字幕ボタン 37
字幕の表示と選択

アングルボタン 37 41
カメラアングル/スライドショーの効果の切り換え

ランダムボタン 41
順不同の再生



電源ボタン 26
電源の入り切り

サーチモードボタン 32
見たいシーンの指定画面の表示

セットアップボタン 46
設定項目の一覧表

決定ボタン 29
選んだ内容の決定

トップメニューボタン 29
DVDビデオディスクのトップメニューの表示

スキップボタン 32
チャプター、トラックの頭出し

停止ボタン 28
再生の停止

再生／一時停止ボタン 28 29
再生の開始/一時停止

クリアボタン 33
入力値の取り消し

スローボタン 31
スローモーション再生

ズームボタン 36
再生画像の拡大

音声ボタン 38
音声の選択

プログラムボタン 35
再生する順番の設定

1) メニューボタン
DVDビデオディスクに記録されているメニュー画面などを表示するときに使います。
メニュー画面での操作は、「トップメニューを使う」(29 ページ)と同様の手順で行ないます。ディスクによっては、メニュー画面が記録されていないものもあります。

2) リターンボタン
市販のソフトディスクによっては「リターン」を押すと、指定された画面に戻ります。ディスク側の説明書もご覧ください。

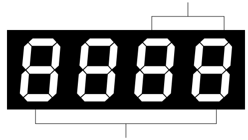
表示窓

■ 動作時のおもな表示について

ディスクメニューの表示中や停止中、またはディスクが入っていないときや、本機で再生できないディスクを入れたときなどに表示されます。



チャプター／トラック番号を表示します。



操作状況などを表示します。

DVDを再生しているとき



チャプター番号が表示されます。

ビデオCDを再生しているとき



トラック番号が表示されます。

CDを再生しているとき



トラック番号が表示されます。

ディスクトレイをあけたとき



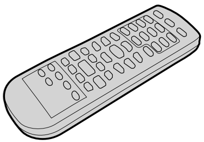
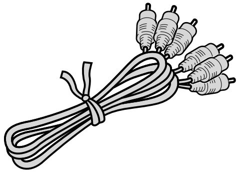
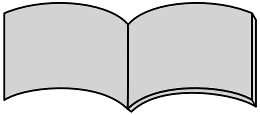
ディスク読み込み中／ディスクトレイをしめたとき



お知らせ
- ディスクや再生状態によって、表示が異なる場合があります。

付属品

本機には以下の付属品があります。お確かめください。

ワイヤレスリモコン×1個 単４形乾電池×2個	映像･音声接続コード×1本	取扱説明書（本書）×1冊
		

安全上のご注意

製品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■ 表示の説明

表　示	表　示　の　意　味
⚠ 警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されること”を示します。
⚠ 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されること”を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■ 図記号の例

図記号	図　記　号　の　意　味
⊘ 禁　止	“⊘”は、**禁止**(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指　示	“●”は、**指示**する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
△ 注　意	“△”は、**注意**を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

異常や故障のとき

⚠ 警告

■ 煙が出ていたり、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認しお買い上げの販売店にご連絡ください。

■ 内部に水や異物がはいったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

■ 落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

■ 電源コードが傷んだり、プラグが発熱したりしたときは、すぐに電源を切り、プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと

プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

設置するとき

⚠ 警告

■ 屋外や風呂、シャワー室など、水のかかるおそれのある場所には置かないこと

風呂、シャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

■ 電源プラグは交流100Vのコンセントに接続すること

指　示

交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

■ 上にものを置かないこと

上載せ禁止

●金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。

●重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。また、本体内部に変形を起こし、トラブルの原因となることがあります。

■ ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないこと

禁　止

本機が落ちて、けがの原因となります。

■ コンセントから電源プラグが抜きやすいように設置すること

指　示

万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。

■ 時々電源プラグを抜いて点検し、プラグやプラグの取り付け面にゴミやほこりが付着している場合はきれいに掃除すること

指　示

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。
（電源プラグは待機状態のときに抜いてください。）

⚠注意

■ 温度の高い場所に置かないこと

禁　止

直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。

■ 湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと

禁　止

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

■ 風通しの悪い場所に置かないこと

禁　止

内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります

●じゅうたんや布団の上に置かないでください。

●テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。

●押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。

●壁に押しつけないでください。

●あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。

■移動させる場合は、電源プラグ・外部との接続コードをはずすこと

指　示

電源プラグを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続コードなどをはずさずに運ぶと、本機が転倒し、けがの原因となることがあります。

■高い場所に設置しないこと

禁　止

本機が落下した場合に、けがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。

使用するとき

⚠警告

■修理・改造・分解はしないこと

分解禁止

火災・感電の原因となります。
点検・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

■ディスクトレイなどから異物を入れないこと

異物挿入禁止

ステープル、クリップなどの金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■雷が鳴りだしたら、本機や電源プラグに触れないこと

接触禁止

感電の原因となります。

■電源コードは

禁　止

●傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱しないこと
●引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと
●無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと
●他の電源コードは使用しないこと
●他の機器に使用しないこと

火災・感電の原因となります。

⚠注意

■電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かないこと

引っ張り禁止

電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき、火災・感電の原因となります。電源プラグを持って抜いてください。

■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■ 旅行などで長期間不在の場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと

プラグを抜け

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

■ ディスクトレイに手を入れないこと

禁　止

手をはさみ、けがの原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと

禁　止

ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。

■ 電源を入れる前には音量を最小にすること

指　示

電源を入れる前には、接続しているアンプなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

■ テレビやオーディオシステムの音量を上げすぎないこと

禁　止

音量を上げすぎると、耳への刺激で聴力に悪い影響を与えたり、ご近所の迷惑になります。特に夜間は、日中よりも音量を下げるようにしてください。

■ リモコンに使用している乾電池は、

禁　止

- **指定以外の乾電池は使用しないこと**
- **極性［（＋）と（－）］を間違えて挿入しないこと**
- **充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れないこと**
- **乾電池に表示されている［使用推奨期限］を過ぎたり、使い切った乾電池はリモコンに入れておかないこと**
- **種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないこと**

これを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。
もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目にはいったときは、すぐにきれいな水で洗い眼科医の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないでふき取ってください。

使用上のお願い

取扱いに関すること

■ 非常時を除いて、電源が入っている状態では電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります

■ 移動させるとき
引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、振動が伝わらないように、傷がつかないように毛布などでくるんでください。

■ 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。

■ たばこの煙や煙を出すタイプの殺虫剤、ほこりなどが機器内部にはいると故障の原因となります。

■ 長時間ご使用になっていると上面や背面が多少熱くなりますが、故障ではありません。

■ ふだん使用しないとき
必ず、ディスクを取り出し、電源を切っておいてください。

■ 長期間使用しないとき
機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて、使用してください。

置き場所に関すること

■ 本機は水平で安定した場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いている所など不安定な場所で使わないでください。ディスクがはずれるなどして、故障の原因となります。本機を設置する場所は、本機の重さに十分に耐えられることを確認してください。また本機が落下した場合に、けがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。

■ 本機をテレビやラジオ、ビデオデッキの近くに置く場合には、本機を使用中、組み合わせによっては画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオデッキからできるだけ離してください。

■ 直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど温度が高くなる場所や、ビデオデッキなど熱源になるような機器の上には置かないでください。故障の原因となります。

お手入れに関すること

■ お手入れの際は、本機の電源プラグをコンセントから抜いてから行なってください。

■ 本体や操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
ベンジン、シンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはがれたりする原因となります。

日本国内用です

本機を使用できるのは日本国内だけです。外国では電源電圧が異なりますので使えません。

This player is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

リージョン番号について

本機のリージョン番号は2に設定されています。DVDビデオディスクに再生限定地域を表すリージョン番号が表示されている場合には、そのリージョン番号マークの中に 2 のように2が含まれているか、または ALL が表示されていないと、本機では再生できません。（リージョン番号が不適応の場合には画面に表示がでます。）

音量について

- 市販のDVDディスクの中には、音量が音楽CDなどの他のソフトよりも小さく感じられる場合があります。

  これらのディスクの再生のためにテレビやアンプ側の音量を上げたときには、再生が終わったあとに必ず音量を下げてください。

結露（露付き）について

結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください。

例えば、よく冷えたビールをコップにつぐと、コップの表面に水滴がつきます。これを“結露（露付き）”といいます。この現象と同じように、本機の内部のピックアップレンズや部品、部品内部などに水滴がつくことがあります。

■“結露”はこんなときおきます。

- 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
- 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところに置いたとき
- 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動したとき
- 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき

■結露がおきそうなときは、本機をすぐに使用しない

結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本機の電源プラグをご家庭のコンセントに接続し電源を入れておくと、本機があたたまり水滴がとれますので、しばらく放置してからご使用ください。

レーザー製品の取扱いについて

- 本機は、レーザーシステムを使用しています。本製品を正しくお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただいたあとも必ず保管してください。修理などが必要な場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
- 本取扱説明書に記載された以外の調整・改造を行なうと、レーザー被爆の原因になりますので絶対におやめください。
- 本機は、映像信号の読み取りのためにレーザーを使っています。弱いレーザー光のため、人体に大きな影響はありませんが、安全のため、絶対に製品を分解しないでください。

廃棄について

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。

免責事項について

- 地震や雷などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

操作説明と実際の動作

この取扱説明書は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。

DVDビデオディスク、ビデオCDは、ディスク制作者側の意図で再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生を行なうため、操作したとおりには動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。

ボタン操作中に画面に[⃠]が表示されることがあります。[⃠]が表示されたときは、本機またはディスクがその操作を禁止しています。

ディスクの取扱いと用語

再生できるディスク

本機では以下のディスクが再生できます。

ディスク	マーク（ロゴ）	ディスクの大きさ	内容
DVDビデオディスク		12cm/8cm	・映像（動画）+音声
DVD-RWディスク		12cm	・映像（動画）+音声 （Videoモード／ VRモード CPRM対応） ※ファイナライズ済みのディスクに限ります。
DVD-Rディスク		12cm	・映像（動画）+音声 （Videoモード／ VRモード CPRM対応） ※ファイナライズ済みのディスクに限ります。
ビデオCD		12cm/8cm	・映像（動画）+音声
音楽用CD		12cm/8cm（CDシングル）	・音声
CD-ROM		12cm	・静止画（JPEGファイル）など
CD-R/RWディスク		12cm	・音声（ファイナライズ済みのCD-DA（音楽用CD）フォーマット） ・静止画（JPEGファイル）*CD-Rのみ ※ VIDEO CD（ビデオCD）フォーマットのディスクも再生できます。ただし、ディスクによっては再生できないものもあります。

お知らせ

- 左表以外のディスクは再生できません。
- 左表のマークが表示されていても、データの作り方やディスクの状態など、ディスクによっては再生できない場合があります。
- 左表のマークが表示されていても、DVD-RAMや規格外のディスクなどは再生できません。
- 本機はNTSCテレビ方式に適合したプレーヤーです。他のTV方式（PAL、SECAM）表示のディスクには使用できません。

DVDはDVDフォーマット/ロゴ ライセンシング株式会社の商標です。

■ ビデオCDについて

本機は、PBC付きビデオCD（バージョン2.0）に対応しています。（PBCとはPlayback Control（プレイバック コントロール）の略です。）ディスクによって、２種類の再生を楽しめます。

PBCなしビデオCD(バージョン1.1)

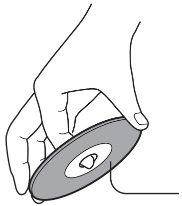
音楽用CDと同じように操作して、音声と映像（動画）を再生できます。

PBC付きビデオCD(バージョン2.0)

PBCなしのビデオCDの楽しみかたに加えて、画面に表示されるメニューを使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます（メニュー再生）。この取扱説明書で説明されている機能が働かない場合があります。

ディスクの取り扱いかた

- 再生面には手を触れないでください。
  たとえば、図のように持ってください。



- ディスクに紙やシールを貼らないでください。
- ディスクを折り曲げたり、表面を傷つけないでください。

ディスクのお手入れのしかた

- ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像の乱れや音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。
- シンナーやベンジン、アナログ式レコード専用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

ディスクの保管のしかた

- 直射日光の当たる場所や、湿度の高い場所には保管しないでください。
- 浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
- ディスクは必ず専用ケースに入れて保管してください。専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると変形する原因となります。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律で禁止されています。

これに従い本機では、著作権保護技術を適用しています。

ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きによって、複製した画像は乱れます。

本機は、マクロビジョンコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの認可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。

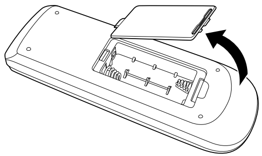
準備と接続

ご使用になる前の準備です。

- リモコンの準備
- テレビとの接続
- オーディオ機器との接続

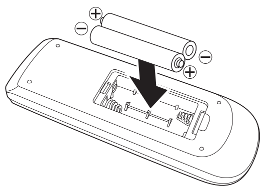
リモコンの準備

1 ふたをはずす



指先や爪を傷めないようご注意ください。

2 乾電池を入れる



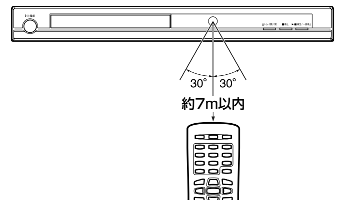
- 単四形乾電池（R03）を２個使用します。
- 乾電池の＋、－を確かめてください。

3 ふたを閉める

操作方法は、特にことわりのない限り、リモコンでの操作を中心に説明しています。本体のボタンは、リモコンのボタンとマークや説明が同じであれば使いかたも同じです。

リモコンの操作範囲

本体のリモコン受光部に向けて以下の範囲内で操作してください。



距離：リモコン受光部正面から約７m以内
角度：リモコン受光部から上下左右約30度以内

リモコン受光部に、太陽光や蛍光灯など強い光があたると、リモコンが動作しないことがあります。

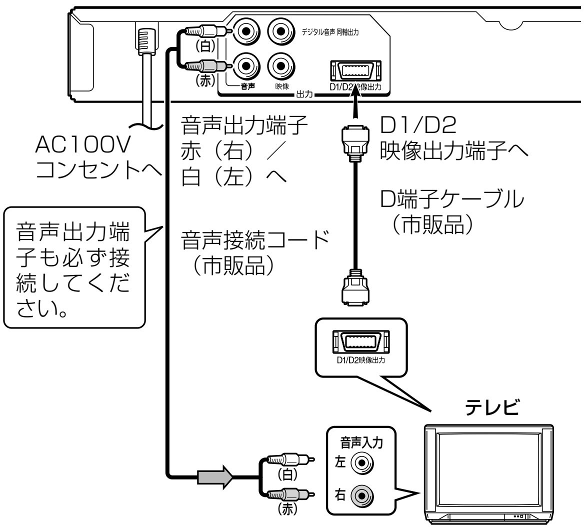
お知らせ
- 受光部が見える正面の位置から操作してください。
- 落としたり、衝撃を与えないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。
- 分解しないでください。
- 動作しなかったり、到達距離が短くなったりしたときは、乾電池をすべて新しいものと交換してください。古い乾電池と新しい乾電池を同時に使わないでください。

テレビとの接続

D1/D2端子付きテレビとの接続

D端子付きテレビやモニターをお使いの場合、この端子に接続することで、より高品質の映像を楽しむことができます。本機は、D1/D2端子に対応しています。

D1端子：480i（インターレース）
D2端子：480i（インターレース）/480P（プログレッシブ）



■ プログレッシブ対応テレビ（D2、D3、D4端子付）と接続するときには

テレビにはインターレース方式とプログレッシブ方式があります。
プログレッシブ方式はインターレース方式にくらべて、ちらつきが少ない画像になります。
お使いのテレビにD2またはD3、D4端子が付いている場合は、本機のD1/D2端子に接続し、映像出力設定を［プログレッシブ］に設定してください。50 ページ

■ D1端子テレビを接続するときには

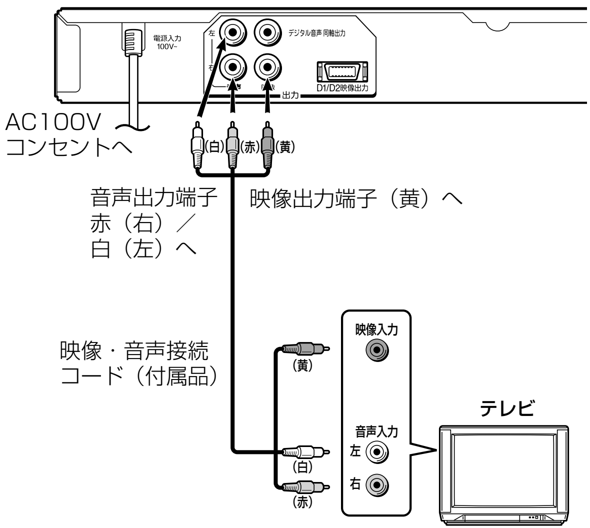
D1端子付きテレビは、480i（インターレース）に対応しています。
映像出力設定を［インターレース］に設定してください。
50 ページ

お知らせ

- 接続するテレビの取扱説明書もよくお読みください。
- 接続するときは、必ず本機およびテレビの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- チューナーやラジオの近くに本機を置くと、AM放送に雑音がはいることがあります。このような場合は、チューナーやラジオとの距離を離してください。
- 本機からの音声出力は、広いダイナミックレンジがあります。突然の大音量によりスピーカーを破損することのないように、音量を確認しながら調節してください。
- 音声の接続に付属品の映像・音声接続コードを使うときは、映像信号用プラグ（黄）は接続する必要はありません。

映像入力（黄）端子付きテレビとの接続

映像出力（黄）端子からは、480i（インターレース）方式の信号が出力されます。



お知らせ

- 接続するテレビの取扱説明書もよくお読みください。
- 接続するときは、必ず本体およびテレビの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機とテレビは、直接接続してください。たとえば、本機からの映像をビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクターなどを通してご覧になると、コピー防止の働きによって正常な画像にならないことがあります。

オーディオ機器との接続

お手持ちのオーディオシステムと接続して、迫力ある音響効果を楽しめます。

接続する機器が、デジタル音声入力対応かアナログ音声入力かで、使う端子が異なります。

接続する機器の入力が、デジタルかアナログかを確かめて、接続方法を選んでください。

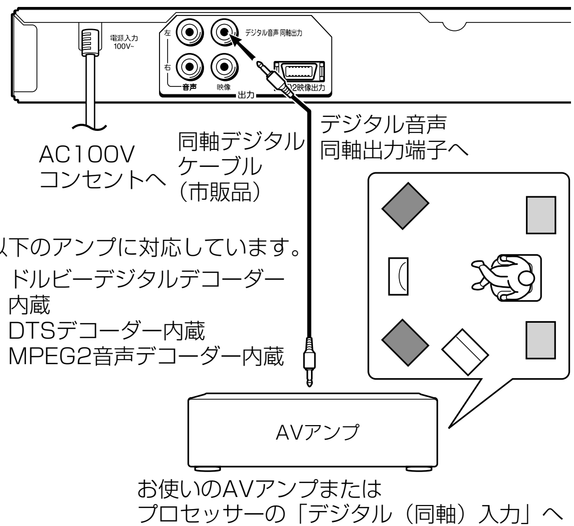
お願い

- 他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。
- 本機の電源プラグを抜き差しするときは、必ずステレオアンプの電源スイッチを切っておいてください。電源を入れたままにしておくと、スピーカーを傷めるおそれがあります。
- 本機からの音声出力は、広いダイナミックレンジがあります。突然の大音量によりスピーカーを破損することのないように、音量を確認しながら調節してください。

お知らせ

- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- チューナーやラジオの近くに本機を置くと、AM放送に雑音がはいることがあります。このような場合は、チューナーやラジオとの距離を離してください。

AVアンプ（デジタル音声入力端子付き）とつなぐ



以下のアンプに対応しています。

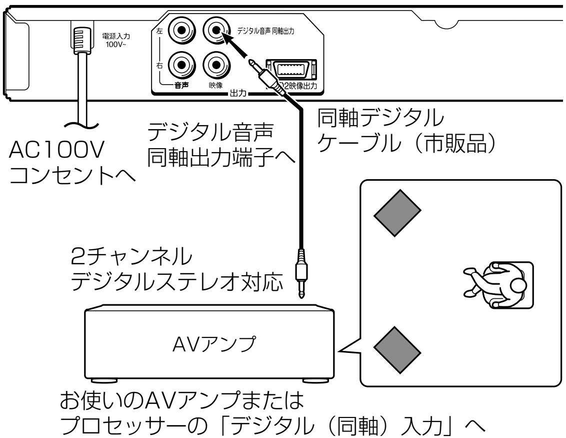
- ・ドルビーデジタルデコーダー内蔵
- ・DTSデコーダー内蔵
- ・MPEG2音声デコーダー内蔵

接続後は、設定をしてください。	設定する項目	選ぶ内容	ページ
	[デジタル出力]	[ビットストリーム]	51

⚠注意

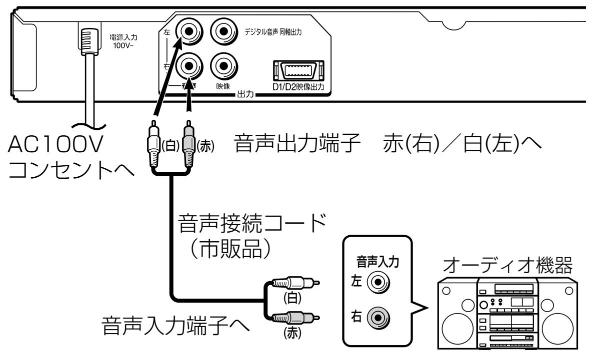
- DTS対応のディスク（音楽用CD）を再生すると、音声出力端子から過度のノイズが出力されることがあります。オーディオ機器を本機の音声出力端子に接続している場合は、スピーカーなどを破損することのないよう十分ご注意ください。DTSデジタルサラウンド音声をお楽しみになるときは、必ず本機の「デジタル音声同軸出力端子」にDTSデジタルサラウンドデコーダーを接続してください。

AVアンプ（2chデジタルステレオアンプ）とつなぐ



接続後は、設定をしてください。	設定する項目	選ぶ内容	ページ
	[デジタル出力]	[PCM]	51

アナログ音声入力端子付きオーディオ機器とつなぐ



お使いのアンプによっては、[デジタル出力] を [オフ] に設定していても、デジタルケーブルを接続しているとアナログ音声が正しく出力されない場合があります。[デジタル出力] を [オフ] にしたときは、デジタルケーブルを本機から抜いてください。

再生

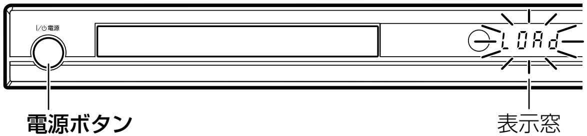
ディスクを再生してみましょう。

- 電源の入／切
- ディスクを入れる
- ディスクを再生する
- 再生の速さを変える
- 見たいシーンを探す
- くり返し再生する（リピート再生）
- 好きな順番で再生する（プログラム再生）
- 拡大する（ズーム再生）
- アングル（場面の角度）を切り換える
- 字幕の言語を切り換える
- 音声を切り換える
- 音楽用CD ／画像ファイルを再生する
- 操作状況や情報を表示させる

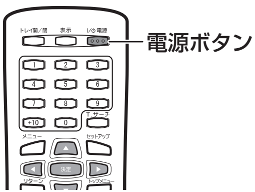
電源の入／切

電源の入れかた

本体またはリモコンの「電源」を押す

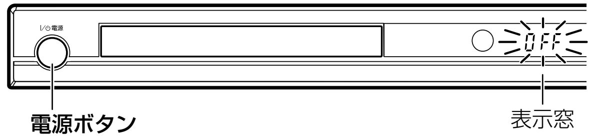


電源が入ります。

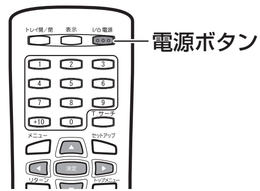


電源の切りかた

本体またはリモコンの「電源」を押す



電源が切れます。



お知らせ

- 「電源」を押して電源を切っても、本体は通電しています。本機の電源を完全に切るには電源プラグを抜く必要があります。

ディスクを入れる

再生できるディスクは、16 ページでご確認ください。

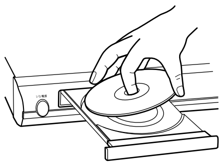
1 **本体またはリモコンの「トレイ開／閉」を押す**

ディスクトレイが開きます。

2 **ディスクをディスクトレイに置く**

ラベル面を上にして、内側の溝に合わせて置きます。

両面ディスクの場合、再生する面の表示を上にして、内側の溝に合わせて置きます。



3 **本体またはリモコンの「トレイ開／閉」を押す**

ディスクトレイが閉まります。

お知らせ

- ディスクトレイの出し入れは、ボタン操作で行なってください。また動いているディスクトレイに力を加えないでください。故障の原因となります。
- 本機で再生できないディスクやディスク以外のものを、ディスクトレイに置かないでください。
- ディスクトレイを上から強く押したり、ディスク以外のものをのせないでください。故障の原因となります。

■ディスクを取り出すときは

「**トレイ開／閉**」を押して、ディスクトレイが最後まで完全に開いたらディスクを取り出します。

■ディスクトレイをロックする

本機にはトレイロック機能があります。

1 「**セットアップ**」を押す

2 **番号ボタン**を「**2**」→「**0**」→「**0**」→「**6**」の順に押す。

ディスクトレイがロックされます。

3 「**セットアップ**」を押す

元の画面に戻ります。

- ロックを解除するときには、もう一度上記と同じ手順を行なってください。

ディスクを再生する

DVD-V VCD CD

■ **準備**

- テレビの電源を入れて、本機を接続しているビデオ入力を選びます。
- 本機の電源を入れます。

1 ディスクを入れ、トレイを閉じる（27 ページ）

ディスクの再生が始まります。

再生が始まらないときは「**再生／一時停止**」を押します。

- トップメニューが記録されたDVDビデオディスクを再生したときは、メニュー画面が表示されます。詳しくは、「トップメニューを使う」をご覧ください。
- ディスクメニュー画面は、「トップメニュー」や、「メニュー」を押して表示させる場合があります。（DVDビデオディスクによって異なります。）
- 音楽用CDのときは、メニューが表示されます。操作方法は、「音楽用CD ／画像ファイルを再生する」をご覧ください。

2 再生を止めるには、「停止」を押す

続き再生機能（レジューム再生）について

再生を停止した位置を本機が記憶し、その続きから再生できる機能です。
再生中に「停止」を押して再生を停止したあとに「再生」を押すと、停止した位置から再生がはじまります。

- 続き再生をしないで、始めから再生したいときは、「停止」を２回押すと、続き再生が解除されます。
- 以下の場合も、続き再生は解除されます。
  －電源を切ったとき
  －ディスクトレイをあけたとき

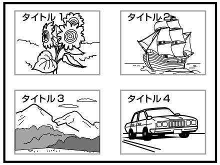
お知らせ

- ディスクによって、レジューム再生の始まる位置が変わることがあります。

トップメニューを使う

DVD-V VCD CD

例：



1 「**トップメニュー**」を押す

ディスクのトップメニューが画面に表示されます。

ディスクによっては「**メニュー**」を押すと表示されるものもあります。

2 **方向ボタン**（▲/▼/◀/▶）を押して、再生したいタイトルを選ぶ

タイトルに番号がついている場合、番号ボタンでも選べるディスクもあります。

3 「**決定**」を押す

選んだタイトルのチャプター 1 から再生が始まります。

お知らせ

- ディスクを入れると自動的にトップメニューが表示されるものもあります。
- この手順は基本的な操作手順です。ディスクによっては手順が異なりますので、操作手順が画面に表示されている場合は、その手順にしたがってください。
- トップメニューが記録されていないディスクでは、トップメニューは表示されません。
- ディスクの説明書によっては、トップメニューを表示するボタンを「TITLE（タイトル）」ボタンと呼んでいる場合があります。

再生を一時停止する（静止画再生）

再生中に、「**再生/一時停止**」を押す

画像が静止し、音声が消えます。

普通の再生に戻すには、「再生/一時停止」を押します。

■ ビデオCDのPBC設定について

「**メニュー**」を押すと、[PBC オン] と [PBC オフ] の切り換えができます。

お知らせ

- プレイバックコントロール（PBC）付きビデオCDを、[PBC オン] で再生すると、メニュー画面が表示される場合があります。このメニューから見たい内容を選ぶことができます。再生中などにメニューを再度表示したいときは、「リターン」を押してください。
- [PBCオフ] から [PBCオン] に切り換えると、再生はディスクの最初から始まります。

■ スクリーンセーバー(焼付き防止機能)について

画面を焼付きから保護するための機能です(焼付き防止を保証するものではありません)。

ディスクが入っていない状態や停止状態が約2分間続くと、スクリーンセーバーが自動的に働きます。スクリーンセーバーを解除するときは、本体またはリモコンのボタンのどれかを押してください。

■ オートパワーオフ機能

スクリーンセーバーが起動してから約20分間経過すると、電源が切れます。

再度お使いのときは、もう一度電源を入れ直してください。

再生の速さを変える

早戻し／早送りする

DVD-V VCD CD

再生中に、「**早戻し**」「**早送り**」を押す

◀◀：早戻しの再生

▶▶：早送りの再生

押すたびに速さが切り換わります。

普通の再生に戻すには、「再生／一時停止」を押します。

お知らせ
- DVDディスクでの早戻し、早送り再生中は、音声と字幕(副映像)は再生されません。
- 早送り、早戻しの速さはディスクによって異なります。
- VRモードで記録されたディスクは、記録状態などによって、早戻し／早送りができない場合があります。

コマ送りで再生する

DVD-V VCD CD

再生中に、「**コマ送り**」を押す

1回押すごとに、1コマずつ進みます。

普通の再生に戻すには、「再生／一時停止」を押します。

お知らせ
- コマ送り再生中は、音声は再生されません。

スローモーションで再生する

DVD-V VCD CD

再生中に、「**スロー**」を押す

押すたびに、速さが切り換わります。

普通の再生に戻すには、「再生／一時停止」を押します。

お知らせ
- 戻し方向のスローモーション再生はできません。
- スローモーション再生中は、音声は再生されません。
- 速さの表示はおおよそです。再生するディスクによっても異なります。

見たいシーンを探す

DVD-V VCD CD

前後のチャプター／トラックへスキップする

1 **「スキップ」をくり返し押して、再生したいチャプター／トラック番号を選ぶ**

選んだチャプター／トラックから再生が始まります。

▶▶I：一つ先のチャプター／トラックの先頭から再生します。

I◀◀：現在のチャプター／トラックの先頭から再生します。連続して２度押しすると、一つ前のチャプター／トラックの先頭から再生します。

お知らせ

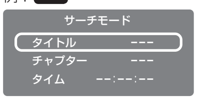
- ビデオCDではスキップができない場合があります。その場合は［PBCオフ］にしてみてください。ディスクによってはスキップできる場合もあります。

番号を指定してシーンを探す

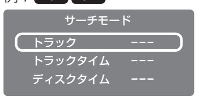
1 **「サーチモード」を押す**

設定画面が表示されます。

例：DVD-V



例：VCD CD



何も操作しないと、画面の表示は数秒で消えます。

2 **方向ボタン（▲/▼）を押して、シーンを探す方法を選ぶ**

DVD-V のとき

- **［タイトル］、［チャプター］:**
  タイトル、チャプターで探したいときに選びます。
- **［タイム］:**
  見たいシーンをタイトル内の経過時間を指定して探したいときに選びます。

VCD CD のとき

- **［トラック］:**
  トラックで探したいときに選びます。
- **［トラックタイム］:**
  トラック内の経過時間を指定して探したいときに選びます。
- **［ディスクタイム］:**
  ディスク内の経過時間を指定して探したいときに選びます。

お知らせ

- ビデオCDを［PBCオン］で再生しているときは、［タイム］だけが表示されます。

3 番号ボタンを押して、番号を入力する

- タイトル／チャプターの例：「25」を入力するには「2」→「5」の順に押します。
- 時間入力の例：１時間25分30秒の経過時間を入力する

  「1」→「2」→「5」→「3」→「0」

4 「決定」を押す

指定した箇所から再生が始まります。

お知らせ

- ディスクの種類や記録されている状態によって表示される画面が異なります。
- 番号を設定前に戻す場合は、「クリア」を押してください。
- タイトル番号の記録されていないディスクでは、タイトル番号を指定することはできません。
- ディスクやシーンによっては、経過時間を使ってシーンを探すことができないことがあります。

くり返し再生する（リピート再生）

DVD-V　VCD　CD

範囲を指定してくり返し再生する（A-Bリピート再生）

1 くり返し再生したい範囲の始点（A）で、「**A-Bリピート**」を押す

画面に［リピートA-］の表示が出ます。

2 くり返し再生したい範囲の終点（B）で、「**A-Bリピート**」を押す

画面に［リピートA-B］の表示が出ます。
自動的にA点に戻り、指定した範囲（AB間）のくり返し再生が始まります。

普通の再生に戻すには、「A-Bリピート」を押します。
［リピートオフ］の表示が出ます。

お知らせ
- 現在のタイトルまたはトラックの中だけで、A-Bの設定ができます。
- ディスクによって、くり返し再生したときの始点（A）の位置が変わることがあります。
- A-Bリピート再生中は、「停止」と「A-Bリピート」以外の操作はできない場合があります。

タイトル、チャプターまたはトラックをくり返す

1 再生中に「**リピート**」をくり返し押して、モードを選ぶ

押すたびに、リピートモードが切り換わります。
何も操作しないと、画面の表示は数秒で消えます。
現在再生しているチャプターやトラックの再生が終わってから、リピート再生が始まります。

ディスク	リピートモード	くり返す対象
DVD-V	チャプターリピート	現在のチャプター
DVD-V	タイトルリピート	現在のタイトル
VCD CD	トラックリピート	現在のトラック
VCD CD	ディスクリピート	ディスク全体
DVD-V VCD CD	リピートオフ	普通の再生に戻ります。

お知らせ
- ディスクによっては、リピート再生できないものがあります。
- 電源を切ったり、ディスクトレイをあけると、リピート再生は解除されます。
- ビデオCDはリピート再生できない場合があります。その場合は、PBCの設定を［PBC オフ］にしてみてください。ディスクによってはリピート再生できる場合もあります。

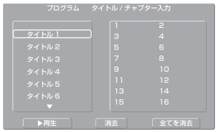
好きな順番で再生する（プログラム再生）

DVD-V　VCD　CD

1 停止中に「**プログラム**」を押す

設定画面が表示されます。

例：DVD-V



2 再生したい順番にタイトルとチャプター／トラックを設定する

1）設定するタイトル番号を**方向ボタン**（▲/▼）で選び、「**決定**」を押す

2）設定するチャプター番号を**方向ボタン**（▲/▼）で選び、「**決定**」を押す
画面右側に設定したプログラム内容が表示されます。
他のタイトル番号を選びたい場合は、[. .] を選び「**決定**」を押すと、タイトル番号の選択画面に戻ります。

3）1）〜2）をくり返してプログラムの設定をしてください。

・ビデオCDの場合は、トラック番号を選んでプログラムを設定してください。
・ディスクによっては、チャプターやトラック番号が存在しないものもあります。そのときは、入力は受けつけられません。

3 方向ボタン（▶）を押して、[▶再生] を選び、「決定」を押す

設定した順にプログラム再生が始まります。

■ プログラム再生を中止するには

「**停止**」を２回押す

（設定したプログラム内容は消去されます。）

お知らせ

- ディスクによっては、プログラム再生できないものがあります。
- 以下の場合は、プログラム再生は解除されます。
  －ディスクメニューを表示させたとき
  －電源を切ったとき
  －ディスクトレイをあけたとき
- 再生中に「プログラム」を押した場合は、再生が停止します。再生を再開する場合、通常再生はディスクの最初から、プログラム再生はプログラムの最初からの再生になります。

拡大する（ズーム再生）

DVD-V **VCD** CD

1 再生中に、「ズーム」を押す

ズームアイコンが表示されます。

スロー再生中、一時停止中、早送り中、早戻し中でも操作できます。

例



2 ズームの倍率と位置を選ぶ

- **倍率：「ズーム」をくり返し押す**

押すたびに以下のように切り換わります。

[🔍 1] → [🔍 2] → [🔍 3] → [🔍 オフ]（→ [🔍 1]に戻る）

- **位置：方向ボタン（▲/▼/◀/▶）を押す**

■ 普通の再生に戻すには

再生中に画面に[🔍 オフ]が表示されるまで、「**ズーム**」をくり返し押す

お知らせ

- ディスクによっては、ズーム再生できないものがあります。
- 場面によっては、ボタン操作が正しく働かないことがあります。
- 字幕やメニューの選択表示（マーク）などの副映像部分や画面表示部分は拡大されません。
- 以下の場合は、ズーム再生は解除されます。
  –電源を切ったとき
  –ディスクトレイをあけたとき

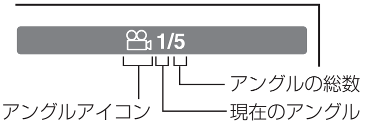
アングル（場面の角度）を切り換える

DVD-V VCD CD

1 マルチアングルで記録されている部分の再生中に、「**アングル**」を押す

画面にアングルアイコン［ 🎥 ］が表示されます。

例



タイトルごとに表示されます。マルチアングル記録部分が含まれていないディスクでは表示しません。

マルチアングルで記録されていないディスクやシーンではアングルの切換えはできません。

2 「**アングル**」を押して、アングルを選ぶ

押すたびに、アングルが切り換わります。

お知らせ

- アングルを選んでから、実際に画像のアングルが切り換わるまでには、少し時間がかかります。
- アングルを選んだ直後に一時停止させたときは、画像のアングルが切り換わらないことがあります。
- マルチアングルのディスクによっては、特殊再生（例えば、早送り、早戻し、スローなど）が禁止される場合もあります。

字幕の言語を切り換える

DVD-V VCD CD

1 再生中に、「**字幕**」を押す

字幕設定が表示されます。

例



2 字幕設定の表示中に、「**字幕**」を押す

押すたびに、表示される字幕言語が切り換わります。

お知らせ

- 字幕が記録されていないディスクもあります。
- 再生している場面によっては、字幕言語を切り換えても、すぐには切り換えた言語の字幕が表示されないことがあります。

■ 字幕の表示と非表示を切り換えるには

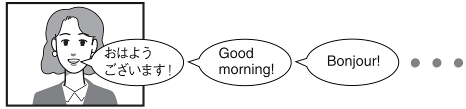
再生中に、画面に［…オフ］が表示されるまで、「**字幕**」をくり返し押す

お知らせ

- ディスクによっては、字幕が自動的に表示されるように設定されているものがあります。また、字幕機能をオフに設定しても、非表示にできない場合があります。
- ディスクによっては、字幕の言語や表示、非表示の切換えをディスクメニューを使って選ぶ場合があります。

音声を切り換える

DVD-V **VCD** CD



1 再生中に、「**音声**」を押す

音声設定が表示されます。

例



2 音声設定の表示中に、「**音声**」を押す

押すたびに、ディスクに記録されている音声が切り換わります。

- 複数の音声が記録されていないディスクもあります。そのときは、音声の切換えはできません。

お知らせ

- ディスクによっては、音声の切換えをディスクメニューを使って行なう場合があります。このときは、「メニュー」を押してディスクメニューを表示させてから音声を選んでください。

■ ビデオCDの音声チャンネルを切り換えるには

再生中に、「**音声**」を押して、音声チャンネルを選ぶ

音楽用CD ／画像ファイルを再生する

DVD-V　VCD　**CD**

音楽用CD、画像ファイル(JPEG)の再生ができます。

■JPEGファイルの再生対応条件

対応メディア	CD-ROM、CD-R
ファイルシステム	ISO9660、UDF without interleave
ファイル名	8文字以下で、拡張子「JPG」が付け加えられていること。(例「○○○○○○○○.JPG」) “?!><+*}{`[@]:;\ /.,”など、特殊な文字が使われていないこと。英数字のみで構成されていること。
ファイルの総数	500以下
フォルダの総数	200以下
フォーマット	BASELINE、PROGRESSIVE
解像度	Baseline JPEG:最大5760×4320 Progressive JPEG:最大5760×4320

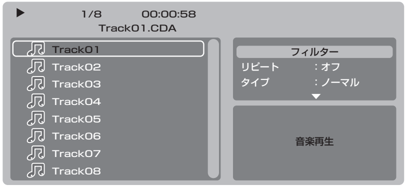
お知らせ

- 対応または動作確認済みのディスクでも、状態などによっては動作しない場合があります。

1 再生したいディスク(音楽用CDまたはJPEGファイル)を入れる

メニューが表示されます。

例



音楽CDの場合は、自動的に再生が始まります。

メニュー画面にフォルダ名が表示されても、未対応のファイルは表示されません。

(つづく)

（つづき）

2 再生したいトラック／ファイルを**方向ボタン**（▲／▼）で選び、「**決定**」または「**再生**」を押す

再生が始まります。

JPEGファイルの場合は、1画像ずつ順に再生（スライドショー）します。
ファイルの容量によって、スライドショーの間隔が異なります。

3 再生を止めるには「**停止**」を押す

お知らせ

- ディスクやファイル、およびディスクの記録状態によって再生できないものがあります。

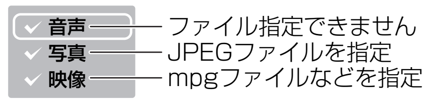
■ 再生するファイルの種類を選択する

例えば、1枚のディスクの中に数種類のファイルが記録されているとき、以下の手順で再生するファイルの種類を指定することができます。

1 **方向ボタン**で[フィルター]を選び、「**決定**」を押す

以下の画面が表示されます。

例



2 再生するファイルの種類を**方向ボタン**で選び、「**決定**」を押す

選ばれたファイルの種類にはチェックマーク［ ✓ ］が入ります。

お知らせ

- 市販の音楽用CDのときは、ファイルの指定はできません。

■ リピート再生をする（音楽用CD）

方向ボタンで画面の［リピート］を選び、「**決定**」を押す

「**決定**」を押すたびに、リピートモードが切り換わります。

→オフ：　普通の再生に戻ります。
↓
トラック：　現在のトラックをくり返し再生します。
↓
オール：　ディスク全体をくり返し再生します。
（オフに戻る）

リモコンの「リピート」でもリピートモードの切り換えができます。

■ ランダム再生をする（音楽用CD/JPEGファイル）

方向ボタンで［モード］を選び、「**決定**」を押す

「**決定**」を押すたびに、モードが切り換わります。

→ノーマル：　普通の再生に戻ります。
↓
ランダム：　重複なしで順不同に再生します。
（ノーマルに戻る）

リモコンの「ランダム」でもモードの切り換えができます。

お知らせ

- ディスクによっては再生できないものがあります。
- スキップなど、一部リモコンで操作できる機能もあります。

■ 画像を回転させる（JPEGファイル）

再生中に**方向ボタン**（▲/▼/◀/▶）を押すと、そのたびに画像が回転します。

お知らせ

- 方向ボタンを押してから画像が回転するまで、多少時間がかかります。

■ 画像の切り換わりかたを設定する（JPEGファイル）

スライドショーで、画像が切り換わるときの効果を変更することができます。

再生中に「**アングル**」を押す

「**アングル**」を押すたびに、効果が切り換わります。

なし → ワイプ（下）→ ワイプ（上）→ スプリット（内）→ スプリット（外）→ ブラインド（下）→ ブラインド（上）→ ランダム →（なしに戻る）

お知らせ

- 停止すると、［なし］に戻ります。

■ 好きな順番で再生する(プログラム再生)

再生したいトラックを並びかえて、好きな順番で再生できます。

1 **方向ボタン**で [編集モード] を選び、「**決定**」を押す([モード]の下に[編集モード]があります。方向ボタン(▼)でカーソルを移動させてください。)

2 **方向ボタン**(◀) でトラックが表示されている画面へカーソルを移動させる

3 **方向ボタン**(▲/▼) でプログラム再生したいトラックを選び、「**決定**」を押す

選んだトラックにチェックマーク [✓] が入ります。

4 **方向ボタン**で [プログラム入力] を選び、「**決定**」を押す([編集モード]から方向ボタン(▼)でカーソルを移動させていくと、[プログラム入力]があります。)

選んだトラックが本体に記憶され、チェックマーク [✓] が消えます。

5 **方向ボタン**で [プログラム表示] を選び、「**決定**」を押す

プログラムされた内容が表示されます。

6 「**再生**」を押す

プログラムした順に再生が始まります。

■ トラック／ファイルを表示する

画面の [ファイル表示] を選び、「**決定**」を押すと、ディスクに記録されているトラック／ファイルが表示されます。

■ プログラムした内容を取り消すには

1 「**停止**」を2回押して、再生を停止させる

[編集モード] になっていない場合は、方向ボタンで[編集モード] を選び、「決定」を押してください。

2 **方向ボタン**(◀) でトラックが表示されている画面へカーソルを移動させる

3 取り消したいトラックを選び、「**決定**」を押す

選んだファイルにチェックマーク [✓] が入ります。

4 **方向ボタン**で [消去] を選び、「**決定**」を押す

プログラムした内容が解除されます。

お知らせ

- ディスクによっては機能しないものがあります。

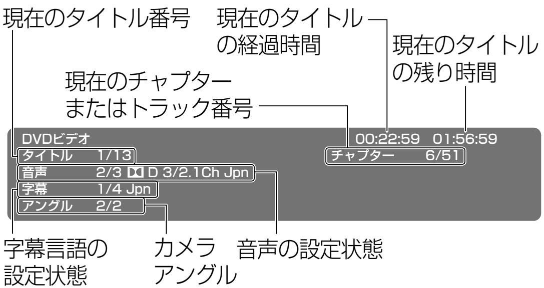
操作状況や情報を表示させる

DVD-V **VCD** CD

1 再生中に、「表示」を押す

現在の操作状況や情報が表示されます。

例：DVDビデオディスク



画面表示を消すにはもう一度「**表示**」を押します。

機能設定

お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

● 初期設定の変更と機能の設定

初期設定の変更と機能の設定

DVD-V VCD CD

本機では、さまざまな機能があらかじめ初期設定されています。お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

1 「セットアップ」を押す

機能設定画面が表示されます。

2 設定項目（下表）のアイコンを、方向ボタン（▲/▼）で選び、方向ボタン（▶）を押す

3 設定項目を、方向ボタン（▲/▼）で選び、「決定」を押す

4 48 ページ以降の説明を参照して、項目の内容を、方向ボタン（▲/▼）などで設定し、「決定」を押す

他の項目を設定するときは、方向ボタン（◀）を押してから、手順２～４をくり返します。

5 「セットアップ」を押す

設定画面が消え、設定は終わりです。

アイコン	設定項目	対応ディスク	設定内容
言語設定 	画面表示言語	DVD-V VCD CD	画面表示に使う言語を選びます。
	字幕	DVD-V VCD CD	各国語で記録されている字幕のうち、どの言語を優先して表示するかを設定します。
	音声	DVD-V VCD CD	各国語で記録されている音声のうち、どの言語を優先して再生するかを設定します。
	DVDメニュー言語	DVD-V VCD CD	各国語で記録されているディスクメニューを、どの言語を優先して表示するかを設定します。

映像 	DVD出力設定	**DVD-V** VCD CD	出力信号の画面形状を、テレビの形状に合わせて設定します。
	映像モード	**DVD-V** VCD CD	表示される映像のサイズをお好みで設定します。
	出力設定	**DVD-V** VCD CD	接続に合わせて出力方式を設定します。
	画質設定	**DVD-V** **VCD** CD	映像の画質を調整します。
音声 	デジタル出力	**DVD-V** **VCD** **CD**	接続のしかたに合わせて、どの音声方式を出力するかを設定します。
	ナイトモード	**DVD-V** VCD CD	夜間など、音量を下げて再生するときに、小さい音までよく聞こえるようにする機能を設定します。
	ダウンサンプリング	**DVD-V** VCD CD	接続機器に合わせて、音声信号の出力方法を設定します。
	3D効果	**DVD-V** VCD CD	音場効果を選びます。
視聴制限 	パレンタルロック	**DVD-V** VCD CD	パレンタルロック機能の内容や入/切を設定します。
その他 	初期設定	—	すべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。

■ 言語設定

画面表示言語 DVD-V VCD CD

English：

英語で画面表示します。

日本語：

日本語で画面表示します。

字幕 DVD-V VCD CD

英語：

英語で字幕を表示します。

日本語：

日本語で字幕を表示します。

自動：

ディスクで決められた言語を優先して字幕を表示します。

オフ：

字幕を表示しません。

お知らせ

- 字幕が記録されていないディスクもあります。
- ディスクによっては、ディスクで決められている言語で字幕が表示されることがあります。
- ディスクによっては、字幕の言語はディスクメニューを使って選ぶようになっている場合があります。このときは、「メニュー」を押してディスクメニューを表示させてから字幕の言語を選んでください。

音声 DVD-V VCD CD

英語：

英語で音声を再生します。

日本語：

日本語で音声を再生します。

お知らせ

- ディスクによっては、ディスクで決められている音声になります。

DVDメニュー言語 DVD-V VCD CD

英語：

英語でディスクメニューを表示します。

日本語：

日本語でディスクメニューを表示します。

お知らせ

- ディスクによっては、英語または日本語のディスクメニューが記録されていないことがあります。この場合、ディスクメニューはディスクで初期設定されている言語で表示されます。

■ 映像

DVD出力設定 DVD-V VCD CD

4:3：

従来の4:3テレビを本機に接続しているとき。

16:9：

16:9ワイドテレビを本機に接続しているとき。

お知らせ

- DVDビデオディスクには、再生できる画面形状があらかじめ設定されています。ディスクによっては、この設定の画面形状どおりに再生されないことがあります。
- 4:3の画面形状だけで記録されたDVDビデオディスクは、この設定にかかわらず4:3の画面形状で再生されます。
- 4:3のテレビを本機に接続した状態で [16:9] を選ぶと、ワイド映像が上下に伸びるなど、正常な画像が表示されません。お使いのテレビに合わせて設定してください。

映像モード　DVD-V　VCD　CD

フルサイズ：
フル画像にサイズを合わせた映像を表示します。

オリジナル：
ディスクに記録されているオリジナルサイズの映像を表示します。

高さ調整：
高さを画面の高さに合わせた映像を表示します。

幅調整：
幅を画面の幅に合わせた映像を表示します。

自動：
歪みのないよう自動的にサイズを合わせて表示します。上下または左右に黒い帯がでます。

パンスキャン：
歪みのないよう自動的にフル画像サイズに合わせた映像を表示します。映像の片側または両側がカットされます。

お知らせ
- この設定の内容は、ディスクの記録の状態や接続しているテレビによっても異なる場合がありますので、お好みに合わせて設定してください。

出力設定　DVD-V　VCD　CD

インターレース：
テレビのD1端子（480i）と本機を接続したときに選びます。

プログレッシブ：
プログレッシブ方式対応のテレビ（D2、D3、D4端子）に接続したときに選びます。

［プログレッシブ］を選ぶと設定画面が表示されます。
画面の表示にしたがって、設定をしてください。

ご注意！
接続しているテレビがプログレッシブ方式に対応していない場合は、［プログレッシブ］に設定をすると画面が正しく表示されない場合があります。
そのときには、以下の設定をしてください。インターレース方式に戻って正しい表示になります。

1 本体またはリモコンの「**トレイ開／閉**」を押す

2 **番号ボタン**「**1**」を数秒間押す

正しい画面表示に戻ります。

画質設定 DVD-V VCD CD

標準：

標準画質で表示します。

ブライト：

映像をより明るく表示します。

ソフト：

映像の輪郭をよりなめらかに表示します。

ダイナミック：

明るさ、コントラスト、色合い、色調の調整をすることができます。

[ダイナミック] を選択すると設定画面が表示されます。
お好みに合わせて設定してください。
方向ボタン▲/▼で設定したい項目を選び、方向ボタン◀/▶で調整します。

ブライトネス	：–20（暗）から20（明）
コントラスト	：–16（低）から16（高）
色合い	：–9（緑）から9（赤）
色調	：–9（薄）から9（濃）

設定が終わったら「**決定**」を押します。

■ 音声

デジタル出力 DVD-V VCD CD

オフ：

デジタル音声が出力されません。

PCM：

2chデジタルステレオアンプを本機に接続しているとき。
ドルビーデジタル、MPEG1、MPEG2で記録されたDVDビデオディスクを再生すると、PCM（2ch）に音声を変換して出力します。

ビットストリーム：

ドルビーデジタル、DTS、MPEG1、MPEG2の各デコーダーを内蔵したアンプを本機に接続しているとき。
ドルビーデジタル、DTS、MPEG1、MPEG2で記録されたDVDビデオディスクを再生すると、それぞれのビットストリーム音声を出力します。

ナイトモード DVD-V VCD CD

オフ：

ダイナミックレンジコントロール機能が働きません。

オン：

ダイナミックレンジコントロール機能が働きます。

お知らせ

- ドルビーデジタルで記録されたディスクのときだけ、この機能が働きます。
- この機能の効果レベルは、ディスクによって変わることがあります。

ダウンサンプリング DVD-V VCD CD

オフ：

96kHzに対応しているアンプまたはデコーダに接続しているとき、サンプリング周波数96kHzで出力されます。

オン：

96kHzに対応していないアンプまたはデコーダに接続しているとき選びます。
サンプリング周波数48kHzで出力されます。

3D効果 DVD-V VCD CD

オフ：

普通の音声です。

オン：

広がりと奥行き感のある音場効果になります。

■ 視聴制限

パレンタルロック DVD-V VCD CD

パレンタルロックに対応したDVDビデオディスクには、あらかじめ規制レベルが設定されています。規制レベルの内容および規制方法はディスクによって異なります。たとえばディスク全体が再生できない場合のほか、過激な暴力シーンをカットしたり、別のシーンに自動的に差し換えて再生されます。ディスクによっては、パレンタルロックに対応しているかどうかの区別がつきにくいものがあります。必ず、設定したパレンタルロックの機能が働くことを確認してください。

■ パレンタルロックの規制レベルを設定する

1 **方向ボタン**で[パレンタルロック]を選び、「**決定**」を押す

パスワード画面が表示されます。

2 **番号ボタン**で4桁の暗証番号(はじめてお使いになるときは「0000」)を入力し、「**決定**」を押す

ロックが解除されます。

3 [パレンタルロック]を選んだまま「**決定**」を押す

4 **方向ボタン**(▲/▼)でパレンタルロックの規制レベルを選び、「**決定**」を押す

パレンタルロックの規制レベルが設定されます。

選んだ規制レベルより上のレベルのディスクは、パレンタルロックの設定レベルを再生できるレベルに変更しないかぎり、再生できなくなります。たとえば、レベル7を設定すると、レベル8以上は、ロックされ再生できなくなります。
アメリカの規制レベルは、次のように対応しています。

8:成人向け	7:NC-17	6:R(R指定)
5:PG-R	4:PG-13	3:PG
2:G(一般向け)	1:子供向け	

レベルは、将来のために用意されたものです。適切な設定レベルは、実際にパレンタルロックに対応したDVDビデオディスクをお買い上げになられたときに、お客様ご自身で動作させてご確認ください。

■ パレンタルロックの規制レベルを変えるには

「パレンタルロックの規制レベルを設定する」の手順を行ない、規制レベルを変更してください。

■ 暗証番号を変えるには

1 [パスワード] を選び、「**決定**」を押す

パスワード画面が表示されます。

2 **番号ボタン**で４桁の暗証番号（はじめてお使いになるときは「0000」）を入力し、「**決定**」を２回押す

暗証番号が解除され、新しい暗証番号の入力画面が表示されます。

3 **番号ボタン**で新しい４桁の暗証番号を入力し、「**決定**」を押す

新しい暗証番号が設定されます。

お知らせ

- 設定した暗証番号を忘れてしまった場合は、「0000」を入力すると、暗証番号を解除することができます。

■ その他

初期設定

いいえ：

現在の設定のままで選択を終了します。

はい：

設定をお買い上げ時の状態に戻します。

その他

お使いになるうえで役立つ情報です。

- 故障かな…？と思ったときは
- 仕様

故障かな…？と思ったときは

アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

症状	原因	処置
電源がはいらない。	• 電源プラグが抜けている。	• 電源プラグをしっかりと差し込む。
テレビの画面が自動的に消えた。	• オートパワーオフ機能が働いた。	• 電源を入れ直す。
映像が出ない。	• 接続しているテレビの入力切換が正しくない。	• テレビの入力切換を、本機からの画像が映るように切り換える。
音声が出ない。	• 音声接続コードでつないでいる機器の入力切換が正しくない。	• 音声接続コードをつないでいる機器の入力切換を、本機からの音声が聞こえるように正しく切り換える。
	• ボリュームが小さすぎる。	• 接続した機器の音量を調節する。
	• 音声接続コードでつないでいる機器の電源がはいっていない。	• 音声接続コードでつないでいる機器の電源を入れる。
	• 音声出力が正しく設定されていない。	• 音声出力を正しく設定する。
AVアンプにデジタル音声出力とアナログ音声出力を同時に接続しているときに、[デジタル出力] を [オフ] に設定してもアナログ音声出力が得られない。	• デジタルケーブルを接続した状態で [デジタル出力] を [オフ] に設定している。	• [デジタル出力] を [オフ] にしたときは、デジタルケーブルを本機から抜く。
ディスク再生中、画像や音声が乱れることがある。	• ディスクがよごれている。	• ディスクを取り出し、きれいにする。
	• 早送り、早戻しをした。	• 画像が多少乱れることがありますが、故障ではありません。
接続しているテレビの画像が明るくなったり暗くなったり、ノイズが出たりする。	• コピー防止機能が働いている。例えば、本機からの映像をビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクター、AVアンプなどを通してテレビでご覧になると、コピー防止の機能によって正常な映像にならないことがあります。	• 本機とテレビを直接接続する。

症状	原因	処置
再生が始まらない。	• ディスクがはいっていない。	• ディスクを入れる。
	• 本機で再生できないディスクがはいっている。	• 再生できるディスクの種類、テレビ方式やリージョン番号を確認する。
	• ディスクを裏返しに入れている。	• 再生面を下にして入れる。
	• ディスクがななめにはいっている。	• ディスクをきちんと収まるように入れる。
	• ディスクがよごれている。	• ディスクをきれいにする。
	• パレンタルロックが設定されている。	• パレンタルロックをの規制レベルを、再生できるレベルに変更する。
ディスクで決められたとおりの再生ができない。	• リピート再生、ランダム再生、プログラム再生などをしている。	• これらの再生のあいだは、ディスクで決められたとおりの再生ができないことがあります。
操作ボタンを押しても動作しない。	• 静電気やノイズなどの影響で本機が動作しなくなっている。	• 本機の電源を入れ直してみる。または、電源プラグを抜き、もう一度差し込む。
リモコンがきかない。	• リモコンが受光部に向いていない。	• リモコンの送信部を本機の受光部に向けて操作する。
	• リモコンと受光部の間が遠すぎる。	• 約7m以内のところで操作する。
	• リモコンの電池が消耗している。	• 電池を交換する。
	• リモコンと受光部の間に障害物がある。	• 障害物を取り除く。

仕様

■ 本体部

動作時消費電力 12W
待機時消費電力 1W以下
電源 AC100V 50/60Hz
質量 2.0kg
外形寸法 幅360×高さ43×奥行209mm（突起部除く）
信号方式 NTSCカラーテレビジョン方式
使用レーザー 半導体レーザー　波長650nm/790nm
使用条件 温度：5℃～35℃ 動作姿勢：水平

■ 本体端子部

映像出力 1.0V(p-p)　75Ω、同期負、 ピンジャック×1系統
音声出力（アナログ音声出力） 2.0V(rms)、出力インピーダンス 2.2KΩ以下、ピンジャック（L, R）×1系統
音声出力（デジタル音声同軸出力） 0.5V(p-p)　75Ω、 ピンジャック×1系統
D1/D2映像出力 14ピン、2列、1.27mmピッチ （Y）1.0V(p-p)　75Ω （C_B/C_R）0.7(p-p)　75Ω

■ 付属品

映像・音声接続コード …1本
ワイヤレスリモコン(SE-R0289) …1個
単四形乾電池（R03）…2個
取扱説明書 …1冊

- 意匠、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。
- この取扱説明書に描かれているイラスト、画面表示などは見やすくするために誇張、省略があり実際とは多少異なります。
- 本製品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材料名表示をしています。

メモ

メモ

メモ